

こどもまんなかアクションリレーシンポジウムinとりで



全てのこども・若者が身体的・精神的・社会的に幸福な生活を送ることができる社会である「こどもまんなか社会」を、地域や企業、団体、そしてなにより当事者の皆さんと一緒に考え、実現するため、茨城県では初となる「こどもまんなかアクションリレーシンポジウムinとりで」を令和6年12月14日（土）取手ウェルネスプラザにて開催しました。三原じゅん子こども政策担当大臣からのビデオメッセージを紹介したのち、こども家庭庁からの基調講演と、ゲストとしてお招きした元サッカー日本代表の本並健治氏、丸山桂里奈氏によるトークセッション、取手市長も交えたパネルディスカッションが開かれました。

■ 基調講演

「こどもまんなか社会」の実現に向けて

〈講師〉木庭 愛（こども家庭庁成育局母子保健課長）

基調講演では、こども家庭庁より、少子化の現状と今後さらに少子化が加速していくことが見込まれる中で、いま取り組むべきことについての講演が行われ、若い世代の所得を増やしていくことや、子育てに関する社会全体の構造・意識を変えていくこと、そして全ての子育て世帯を切れ目なく支援していくことの重要性が語られました。



■ トークセッション

絶賛育児中！ゲストのおふたりに聞く子育てのリアル

〈ゲスト〉本並 健治（元サッカー日本代表）
丸山 桂里奈（元サッカー日本女子代表）

1児の父母である本並氏、丸山氏夫妻が登場し、こどもが生まれた当時の大変だったことや子育てへの想い、お互いの得意・不得意なことを理解し、夫婦のチームワークで乗り越えてきたことの実体験など和やかにトークが繰り広げられました。ステージ前方のマツスペースではこどもたちが自由に遊び、こどもたちに手を振るなど、会場中に笑顔があふれるトークセッションとなりました。



■ パネルディスカッション

理想の「こどもまんなか社会」の実現に向けて

〈パネリスト〉本並 健治、丸山 桂里奈、木庭 愛、中村 修（取手市長）
〈MC〉小村 悦子

みんなで考える仕事と子育ての両立をテーマに、ご夫婦で活躍される本並氏、丸山氏やこども家庭庁の木庭氏、中村取手市長が語り合いました。

取手市における妊娠・出産・育児に対するサポートや、男女共同の視点からの「共育て」に関する取組などをきっかけに、パネリストの実体験を交えたトークが繰り広げられました。

